

児童生徒質問紙調査の結果と考察

HP公開

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」、「している」「どちらかといえばしている」等の合計。

※数値は上段が所沢市、下段()内は全国の数値を記入。

※全国平均よりも高い項目は、数値(%)を網掛け表示。

※考察は、太字で記載。

質問項目	小学6年生	中学3年生
1 学校生活、自尊感情、将来への夢に関する項目		
①自分には、よいところがあると思いますか	83.9% (84.1%)	82.5% (83.3%)
②将来の夢や目標を持っていますか	84.2% (82.4%)	66.4% (66.3%)
③学校に行くのは楽しいと思いますか	85.1% (84.8%)	83.0% (83.8%)
④先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	93.0% (89.9%)	91.9% (90.4%)
⑤友達関係に満足していますか	89.8% (91.1%)	88.6% (90.1%)
⑥普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか （「よくある」「ときどきある」と回答した割合）	91.1% (91.7%)	89.0% (89.8%)

・小・中学校ともに、全国平均とほぼ同等(差が1未満)もしくは高い項目(網掛け)が多く、学校の教育活動全体を通して自己肯定感の醸成が図られており、自他を認め合える楽しく充実した学校生活を送っている児童生徒が多いと考えられる。

・昨年度から、設問④が加わったが、昨年度も同様、小・中学校ともに、全国平均を1ポイント以上上回っており、本市の「心のエネルギープロジェクト」が浸透してきていると考えられる。

・中学3年生の設問②は、令和4年度、5年度において、全国平均より低かったが、今年度上回った。しかしながら、6割程度にとどまっているため、自己肯定感の醸成と併せて、進路指導をはじめとしたキャリア教育の充実を図っていく必要がある。

2 人としての考え方に関する項目	小学6年生	中学3年生
①人が困っているときは、進んで助けていますか	93.0% (92.7%)	91.0% (90.1%)
②いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.4% (96.7%)	94.8% (95.7%)
③人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.3% (95.9%)	94.5% (95.2%)
④自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	74.7% (75.8%)	74.4% (76.2%)

・設問①～③は、全国平均とほぼ同等(差が1未満)もしくは高く(網掛け)、9割を超える高い水準である。

・設問①は、小・中学校ともに、昨年度、今年度において、全国平均より高い。児童生徒の道徳性が高まってきていると考えられる。

・設問④は、小・中学校ともに、令和4年度から今年度まで全国平均より低い。学級活動や道徳科の授業を含む学校の教育活動全体を通して、人としての考え方について多様な他者との対話を充実させることが必要である。

3 家庭学習、読書、SNSに関する項目	小学6年生	中学3年生
①学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)1日1時間以上、勉強しますか(学習塾、家庭教師、インターネットでの学習を含む)	55.3% (54.6%)	67.7% (64.3%)
②あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(26冊以上と回答した割合)	72.5% (64.1%)	66.6% (59.7%)
③普段(月～金曜日)1日2時間以上、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使った学習時間は除く)	31.8% (33.8%)	51.3% (55.9%)
④携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	71.5% (71.1%)	72.8% (72.2%)

・どの設問においても、小・中学校ともに、全国平均と比べ良い結果となったが、学校・家庭の連携のもと、自ら読書をしたり、計画的に学習に取り組んだりするような、主体的学習者としての資質・能力をさらに高めるため、啓発していく必要がある。

4 家庭・地域・社会とのかかわりに関する項目	小学6年生	中学3年生
①地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	81.4% (83.5%)	72.8% (76.1%)

・小・中学校ともに、昨年度の割合より高くなった(小 +7.6、中 +11.9)。今後も「社会に開かれた教育課程」の具現化に向け、地域社会の課題解決を題材とした学習や、地域での体験活動に取り組み、学校・家庭・地域の連携を推進していく必要がある。

5 学習に対する意欲、理解等に関する項目	小学6年生	中学3年生
①分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか	79.6% (80.7%)	80.8% (78.6%)
②あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	87.3% (84.2%)	89.3% (86.3%)
③学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	87.2% (86.3%)	86.3% (86.1%)
④5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	82.1% (81.9%)	82.2% (80.3%)
⑤5年生まで(1、2年生のとき)に、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	75.2% (67.6%)	74.3% (64.8%)
⑥5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	80.8% (79.6%)	77.4% (75.4%)
⑦学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか	79.2% (80.8%)	79.0% (77.9%)
⑧授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか	83.7% (83.7%)	77.6% (79.0%)
⑨道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	88.5% (88.2%)	91.8% (91.7%)
⑩国語の勉強は好きですか	59.2% (62.0%)	62.5% (64.3%)
⑪国語の勉強は大切だと思いますか	95.2% (94.5%)	93.2% (93.9%)
⑫国語の授業の内容はよくわかりますか	85.5% (86.3%)	79.4% (82.7%)
⑬算数(数学)の勉強は好きですか	56.6% (61.0%)	57.3% (57.2%)

⑭算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	94.5% (94.6%)	85.7% (87.2%)
⑮算数(数学)の授業の内容はよくわかりますか	81.0% (82.1%)	72.8% (75.7%)
⑯理科の勉強は好きですか	80.6% (83.6%)	64.9% (68.3%)
⑰理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	84.8% (85.6%)	70.8% (71.5%)
⑱英語の勉強は好きですか	71.2% (69.3%)	
⑲英語の勉強は大切だと思いますか	93.0% (92.1%)	
⑳英語の授業の内容はよくわかりますか	81.5% (78.3%)	

・設問②から⑦、⑨は、昨年度と同じ項目であり、主として「学び方」に関する質問である。これらのすべてにおいて、昨年度より割合が高くなっている。且つ、今年度、小学校の設問⑦を除いて、すべての項目において全国平均より高くなっており、コロナ禍後の教育活動が着実に展開されていることが起因していると考えられる。

・設問⑩～⑮、⑱、⑲は、昨年度と同じ項目であり、主として「教科」に関する質問である。小学校の⑬を除く、すべてにおいて、昨年度より割合が高くなっている。コロナ禍後、通常の教育活動が展開されていることが起因していると考えられる。しかしながら、国語や算数・数学においては、昨年度の傾向と同様、多くの設問で全国平均より低くなった。また、設問で「大切だと思うか」が高い割合に比べ、「好きか」の割合が低いことも、昨年度と同様である。各教科の学習が「好き」になるよう「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を今後も進める必要がある。

6 調査問題に関する項目	小学6年生	中学3年生
①国語の問題で、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか(「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合)	77.4% (79.1%)	75.1% (72.0%)
②国語 解答時間は十分でしたか	59.8% (68.5%)	75.5% (74.5%)
③算数(数学)の問題で、解答を言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く(説明する)問題がありました。どのように解答しましたか(「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合)	77.6% (78.7%)	51.4% (50.0%)
④算数(数学) 解答時間は十分でしたか	81.5% (84.2%)	72.9% (73.6%)

・中学校において、国語・数学のどちらにおいても、「記述式」の問題に対して「最後まで解答を書こうと努力した」と回答する生徒が多かった。各学校において、最後まで解答させようとする指導の成果が県・全国の正答率を上回る結果に表れた。しかし、無解答率も同様に県・全国の数値を上回ってしまったため、引き続き最後まで解答させる指導をしていく必要がある。

7 ICT 活用に関する項目	小学6年生	中学3年生
①5年生まで(1、2年生のとき)の授業の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか(「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」)	89.1% (86.1%)	83.1% (86.2%)
②5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか(週1回以上)	86.0% (85.5%)	83.6% (89.0%)
③学校の授業時間以外に、普段(月曜日～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除き、1時間以上)	19.9% (19.8%)	15.6% (16.6%)

・ICT 機器を学習に活用する割合は、小・中学校ともに年々高まっており、授業等での活用が浸透していることがわかる。

・小学校の方が活用の頻度が高く、また活用の効果を実感している児童の割合が高くなっていることから、今後は中学校における効果的な活用について、引き続き研修会等を充実させていく必要がある。